

アーケードの撤去と商店街活性化

**商店街パワーアップ作戦を利用し、
アーケード撤去の勉強会を行い、
解決につなげる。**

**マンション化の進行と
古くからの専門小売店の
残る商店街**

江戸時代、甲州口から江戸を守る「最後の砦」であった八王子は甲州街道随一の規模を誇る十五の宿場が整備された。なかでもその中心だったのが甲州街道に面した横山宿(町)、八日宿(町)、八幡宿(町)の三宿であり、織物業で賑わった明治期以降もこの界隈が八王子の中心市街地を形成してきた。

八幡町商店会は「三宿」のひとつ八幡町の東半分をエリアとする商店街である。八幡町には八王子の産業の象徴ともいえる織物工業会館が立地し、昭和30年代には生鮮食料品や日用雑貨などの物販店が林立し、映画館などもあ

**アーケードに
持ち上がった問題**

町最盛期ともいえる昭和30年代に完成した八幡町のアーケードは、昭和50年代に一度、建て替えが行われていたが、設置から30余年が経過し老朽化が目立つようになっていた。平成23年には東日本大震災があり耐震補強の必要にも迫られ、大規模な修繕、場合によっては再度の建て替えを検討せねばならなくなった。

駅前への中心街の移動により、会員数は年々減少傾向にあった。もし修繕建て替えを行っても今後の維持、管理にかかる会員への負担は大きくなっていくのは目に見えている。であればこの際、アーケードを外してしまっただろうかという案が出たのは自然の流れだった。

ちなみに、西放射線通りが再開発により歩行者専用になったのを機に、お隣の八日町のアーケードは共同溝整備の際に撤去された。



通り

**勉強会立ち上げも
意見集約できず**

八幡町商店街では長谷部良幸前会長が中心となり「アーケード撤去に関する勉強会」を行ってきた。アーケードのメリット、デメリット、撤去後、どのように対応するかを話し合ったのだ。半世紀にもわたり当然のようにあったアーケードである。撤去の方向で話が進んでいったが、いざ取り外す



華やかな店頭専門店の

積雪による落下事故で 撤去に動き出す

平成25年5月、商店街パワーアップ作戦を利用し、専門家による勉強会を行った。アーケードに関する各地での事例から問題点を把握し、撤去後の街のイメージを描けるようなものであった。さらに同年10月にも専門家による、解体工事に関わる手続き、スケジューリングなどについて勉強会を行った。

平成26年2月14日、八王子市に50センチを超える降雪があり、隣の商店街

構想から約10年、勉強会立ち上げから3年を経てアーケードは撤去され商店街の見た目は変わった。今後はソフト面できかに八幡町商店会としての魅力を打ち出すが課題になると高橋会長は話す。

これまでも会員に個性的な専門店が多いことから、各個店の店主が先生役になり、顧客に専門知識を講義する「まちゼミ」を八王子市内でいち早く

課題は新しい商店街の 魅力をどう打ち出さか

アーケード撤去後、商店街パワーアップ作戦を活用し、街道沿いに面した会員にアンケートを行い、撤去に伴う影響の調査を行った。

会員からは維持管理の費用負担が軽くなったことなど、概ね好意的な意見が聞かれた。利用客からは通りの見通しがよくなった、すっきりしてよいなど商店街の見栄えに関する声があった。

のアーケードが25メートルにわたり落下する事故が起きた。これを契機に商店街は一致して撤去の方向に動き出す。

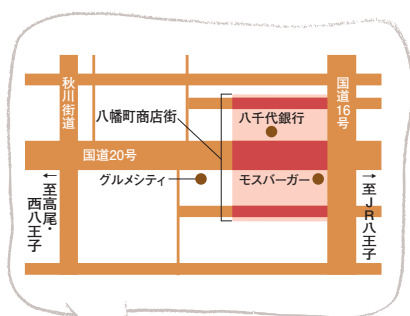
その後も半年余、勉強会で検討を重ね、10月に「ありがとう・さようならアーケード」と銘打ったイベントを実施。11月より工事を開始、本格的な冬の到来を前に撤去した。翌27年2月から3月にかけて各店舗にオーニングメントを設置し、アーケード撤去は完了した。



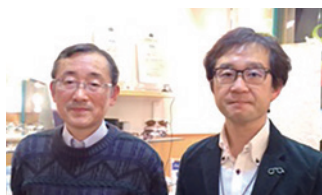
アーケードがなくなった商店街

行ったり、前記したアーケード撤去前イベント「ありがとう・さようならアーケード」では3店舗分のスタンプを集めると抽選でプレゼントが当たる「商店街すごろく」なども行ってきた。これからは商店街パワーアップ作戦などを利用し、会員の意見を集約しながら、新しく生まれ変わった八幡町商店会ならではの集客イベントを模索していく予定である。

安全面での差し迫った必要性もあったが、アーケード撤去は魅力的な商店街作りの手段に過ぎない。真の目的は再びかつてのような活気を八幡町商店会にもたらすことなのである。



- 商店街名 八幡町商店会
- 会員数 37
- 連絡先 会長 高橋英治
(株式会社マルタカ 代表取締役)
- 電話 042-626-4628 (靴のマルタカ)
- URL <http://www.hachiman-mall.com/>
- 活用施策 商店街パワーアップ作戦



高橋会長(左)と高倉副会長(右)

会長 高橋英治

八幡町のアーケードは半世紀以上の歴史がありましたので、単なる雨よけの屋根ではなく、商売、生活の一部といっても過言ではありませんでした。いざ撤去す

るとなれば漠然とした不安が生じるのも仕方のないことで、公社による勉強会は各会員の合意形成を得るのにとっても有用でした。今後も新しくなった八幡町商店街への集客を図るべく、商店街パワーアップ作戦などを活用していきたいと思っています。